

科目名	義肢実習Ⅱ			授業の種類	講義/実習	講師名	
授業回数	53回	時間数	105時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
義手の製作に必要な適合の理論と実際について学ぶ。また、上肢切断の病態の生体力学的根拠に基づく製作理論について学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
義手の製作に必要な理論ついて、座学と実習を通して学ぶ。1) 前腕能動義手（差し込み式ソケット） 2) 自己懸垂式前腕ソケット（ノースウェスタン・ミュンスター） 3) 上腕能動義手							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
能動義手の採型から製作、適合、効率検査に至る一連の作業を理解し、説明できる。							
義手のソケット形状、複式コントロールケーブルシステムの部品、肘継手の機能と名称を理解する。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	採型Demo						
3	モデル修正Demo						
4	採型練習						
5	採型練習						
6	モデル採型実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
7	モデル採型実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
8	モデル採型実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
9	モデル採型実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
10	モデル採型実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
11	モデル採型実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
12	モデル採型実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
13	モデル採型実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
14	モデル採型実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
15	モデル採型実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
16	前腕・上腕義手各論、課題振り分け						
17	製作実習						
18	製作実習						
19	製作実習						
20	製作実習						
21	製作実習						
22	製作実習						
23	製作実習						
24	製作実習						
25	製作実習						

科目名	義肢実習Ⅱ			授業の種類	講義/実習	講師名	
授業回数	53回	時間数	105時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	必修・選択	必修
回数	講義内容						
26	中間テスト						
27	課題発表会						
28	課題発表会						
29	課題発表会						
30	課題発表会						
31	適合実習Demo						
32	適合実習Demo						
33	適合演習						
34	適合演習						
35	適合演習						
36	モデル適合実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
37	モデル適合実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
38	モデル適合実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
39	モデル適合実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
40	モデル適合実習(Aグループ前腕、Bグループ上腕)						
41	モデル適合実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
42	モデル適合実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
43	モデル適合実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
44	モデル適合実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
45	モデル適合実習(Aグループ上腕、Bグループ前腕)						
46	症例報告会						
47	症例報告会						
48	症例報告会						
49	症例報告会						
50	症例報告会						
51	筋電義手						
52	筋電義手						
53	筋電義手						

【 準備学習・時間外学習 】

予習、復習する事

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢学第2版	澤村誠志 編	医歯薬出版
義肢製作マニュアル	田澤 英二	医歯薬出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

実習課題＋小テスト＋終講試験により認定する。

*ただし実習課題・終講試験それぞれの点数が60%を満たさない場合は再試とする。